



平成 17 年 10 月 25 日

各 位

会社名 ネポソ株式会社
代表者名 代表取締役社長 福田 公一
(コード番号 7985 東証第2部)
問合せ先 常務取締役兼常務執行役員 内山 芳男
管理本部長
(TEL . 03 - 3409 - 3131)

中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 18 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の中間期及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1.平成 18 年 3 月期の中間業績予想値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,500	160	100
今回修正予想(B)	4,000	250	180
増減額(B-A)	500	90	80
増減率(%)	11.1	-	-
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月中間期)	4,505	156	87

2.平成 18 年通期業績予想値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,200	100	50
今回修正予想(B)	9,400	20	10
増減額(B-A)	800	80	40
増減率(%)	7.8	80.0	80.0
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	10,209	64	32

3.修正の理由

(1) 中間期

原油高の長期化による施設園芸農家の買い控えが顕著になったため、施設園芸用温風暖房機の出荷が低迷し、さらに住設機器部門の不振が続く結果になり売上高は予想を大きく下回り、経常損失が増加しました。中間純損失についても株式の売却を進めたものの、先にお知らせしました工事補償損失を特別損失に計上したことにより上記のとおり業績を修正するものであります。

(2) 通期

下半期が需要最盛期に当たる施設園芸用温風暖房機の回復と周辺機器の進展に期待するものの原油価格の動向から見て前年並みの売上確保が厳しいことと、住設機器部門の売上減に歯止めがかからない状況から、売上高及び経常利益の減少となり、当期純利益についても中間期の修正に伴い前回予想を下回るものと予想しております。

以上